

YDIF

YDIFはヤマハが開発したデジタルオーディオ伝送の規格です。CAT5eのケーブルを用いて、16chの音声伝送を可能とします。接続形態はリング接続で、極めてシンプルで使い勝手に優れた規格となっています。中小規模設備物件では、ミキサーやプロセッサからアンプまでの結線はアナログで行われるケースが多々ありますが、MTX/MRXシリーズやXMVシリーズではYDIF端子を標準搭載しており、CAT5eケーブルを数珠繋ぎしていくだけで、機器間の結線が容易に行えます。

※XMVシリーズのDanteモデルはYDIFを搭載しておりません。

YDIFの仕様

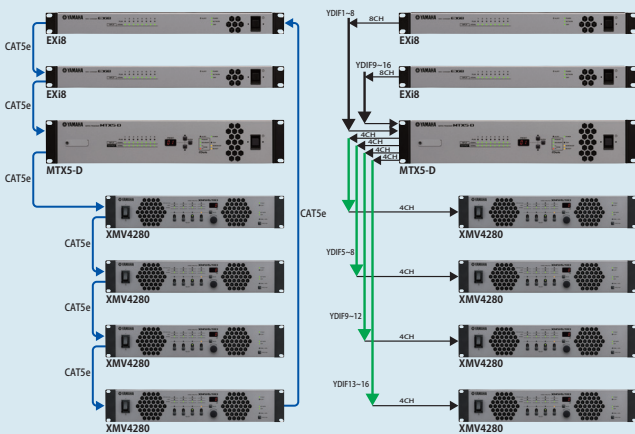
・チャンネル数	: 16ch
・サンプリング周波数	: 48/44.1kHz
・量子化ビット数	: 32bit
・ケーブル	: 8ピン全てがストレート結線されているCAT5e以上のSTPケーブル
・伝送距離	: 各機器間は最大30m
・接続可能台数	: ディストリビューションモードで8台、カスケードモードで4台 (MTXシリーズのみ)
・接続形態	: リング接続
・YDIF端子搭載モデル	: MTX3, MTX5-D, MRX7-D, XMV4280, XMV4140, XMV8280, XMV8140, EXi8, EXo8

用途の異なる2つのモード

1. ディストリビューションモード

最大16chの音声を上流の機器から下流(次)の機器へと送出し、各機器は任意の音声回線を送受信することが可能です。YDIFに対応する全ての機器が対応しており、アナログマルチケーブルのような感覚で使用できます。

<システム例>



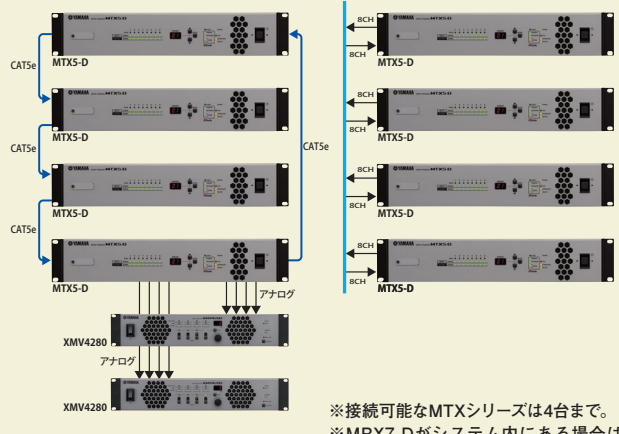
※接続可能なYDIF搭載機器は8台まで。

<音声の流れ>

2. カスケードモード

MTX専用の8chカスケードバスとして機能します。上流・下流に関係なく、全ての機器間で自由に通信が行えますので、複数のMTXを使用した中規模システムにおいて力を発揮します。

<システム例>



※接続可能なMTXシリーズは4台まで。
※MRX7-Dがシステム内にある場合はカスケードポートを選択できません。

<信号の流れ>